歯を救う最後の切り札。“歯周外科治療”ってなに??

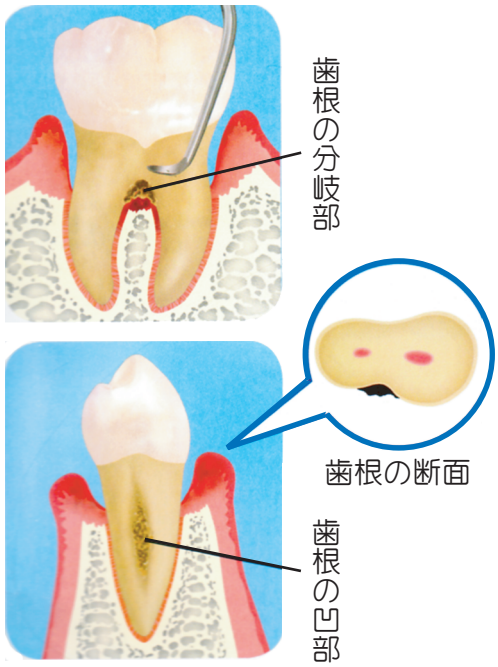
“歯周外科治療”とは、歯周基本治療（歯石除去と歯みがき指導）だけでは炎症が止まらない場合に行う、外科的な歯周病治療をいいます。

“歯周外科治療”ってどんな治療？

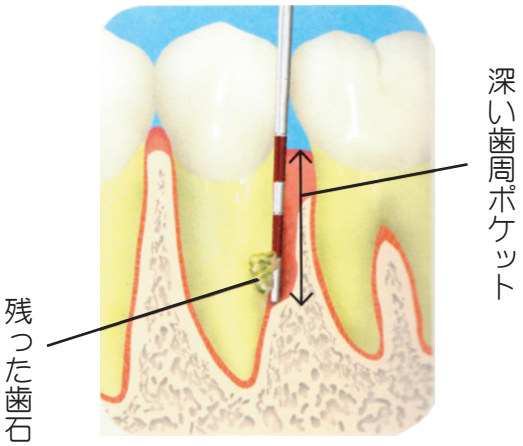
歯周病は、歯ぐきだけに炎症があるごく軽度のものから、歯を支える骨が大きく失われた重度のものまであります。軽度のものは歯石除去やブラッシングなど簡単な処置で骨の喪失を止めることができますが、重度の歯周病ともなると骨が炎症で失われ、くぼんだために歯の周りに深い歯周ポケットができてしまったり（図1）、歯根の形が複雑でスケーラーなどの清掃器具が届かないため（図2）、骨の喪失を含む病気の進行を止めることはできません。この問題を解決して歯を救うには、取り残した汚れを徹底的に取ることと、清掃しやすい状態に整えることが大切です。そこで歯ぐきを切開して掃除し、周りの骨を削ってくぼみを浅くするなどの処置が“歯周外科治療”です。

歯周基本治療では、こうした場所の歯石は取れません。

（図1）



（図2）



炎症が止まらない患者さまには、直接、歯根や骨にアプローチする外科的な歯周病の治療が必要になります。

ただし、毎日服用しているお薬の種類によっては歯周外科治療ができない場合もありますので、スタッフにお薬の確認をとってもらってくださいね。